

## 四半期連結財務諸表

## 四半期連結貸借対照表（要旨）

平成26年9月30日現在

（単位：百万円）

科目	金額
資産の部	
流動資産	27,941
固定資産	7,930
有形固定資産	4,451
無形固定資産	113
投資その他の資産	3,365
資産合計	35,871
負債の部	
流動負債	17,369
固定負債	1,208
負債合計	18,577
純資産の部	
株主資本	17,311
資本金	5,195
剰余金	5,087
利益剰余金	7,414
自己株式	△ 384
その他の包括利益累計額	△ 18
少数株主持分	0
純資産合計	17,294
負債・純資産合計	35,871

※記載金額は、百万円未満を切捨てて表示しております。

## 四半期連結損益計算書（要旨）

平成26年4月1日から平成26年9月30日まで

（単位：百万円）

科目	金額
売上高	19,757
売上原価	18,594
売上総利益	1,163
販売費及び一般管理費	2,234
営業損失(△)	△ 1,071
営業外収益	165
営業外費用	30
経常損失(△)	△ 935
特別利益	8
特別損失	2
税金等調整前四半期純損失(△)	△ 929
法人税等	△ 175
少数株主損益調整前四半期純損失(△)	△ 754
少数株主利益	1
四半期純損失(△)	△ 755

※記載金額は、百万円未満を切捨てて表示しております。

## 会社概況

商号	大成温調株式会社		
本社	〒140-8515 東京都品川区大井一丁目47番1号 TEL.03(5742)7301(代) FAX.03(5742)4551		
創業	昭和16年4月3日		
設立	昭和27年12月22日		
資本金	51億9,505万7,500円		
従業員の状況 (平成26年9月30日現在)	670名		
役員の状況 (平成26年9月30日現在)	代表取締役会長	水谷大介	
	代表取締役社長	山口隆義	
	取締役副社長	中尾信雄	
	専務取締役	但野光吉	
	専務取締役	中村恭三	
	常務取締役	水谷憲一	
	常務取締役	吉野利幸	
	取締役	佐藤正夫	
	取締役	奥山徹	
	常勤監査役	宇川一夫	
	監査役	杉山博康	
	監査役	大久保和正	

(注) 監査役杉山博康氏および大久保和正氏は、社外監査役であります。

## 当社ホームページのご案内

<http://www.taisei-oncho.co.jp/ir/>

当社のより詳細な最新情報は当社ホームページに掲載しております。事業や業績など、株主の皆さまに当社をより深くご理解して頂くためのコンテンツも揃えておりますので、是非、ご覧下さい。



## 株式の状況 平成26年9月30日現在

- 発行可能株式総数 ……55,000,000株
- 発行済株式の総数 ……14,364,975株
- 株主数 ……1,936名
- 大株主の状況

株主名	持株数	持株比率
アミー・コーポレーション(株)	1,986千株	15.2%
大成温調取引先持株会	1,618	12.4
水谷日出夫	1,112	8.5
河村和乎	803	6.1
大成温調従業員持株会	715	5.5
一般財団法人ぺんぎん奨学財団	700	5.4
日本トラスティ・サービス信託銀行(株)(信託口)	221	1.7
青木錠衛	180	1.4
小川恭弘	160	1.2
和田ふみ子	150	1.1

(注) 上記のほか自己株式(1,287,381株)を保有しており、持株比率は自己株式を控除して計算しております。

## 株主メモ

事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会	毎年6月
基準日	
定時株主総会・期末配当	毎年3月31日
中間配当	中間配当を行う場合には9月30日
株主名簿管理人	東京都千代田区丸の内一丁目4番1号
事務取扱場所	三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
(郵便物送付先)	〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
(電話照会先)	☎0120-782-031
(インターネットホームページURL)	<a href="http://www.smtb.jp/personal/agency/index.html">http://www.smtb.jp/personal/agency/index.html</a>
公告方法	電子公告の方法により、当社ウェブサイトに掲載して行います。ただし、電子公告をすることができない場合は、日本経済新聞に掲載いたします。

※その他ご不明な点は、上記の三井住友信託銀行株式会社証券代行部にお問い合わせください。



人の呼吸に  
もっとやさしく。

 **TAISEI ONCHO**

## 株主の皆さまへ

株主の皆さまには、日ごろから格別のご支援、ご愛顧を賜り厚くお礼申し上げます。

ここに当社第64期上半期の業績についてご報告申し上げます。

当社グループの建設業界におきましては、企業収益の改善など受注環境の好転が期待された一方、労務費・材料費等のコストアップが利益圧迫要因となり、経営環境は依然として厳しい状況が続いております。

こうした中、上半期の業績につきましては、売上高は国内外における手持工事の進捗率の遅れにより前年を下回る状況であり、また利益面では、売上高の伸び悩みに伴う売上総利益の減少や米国子会社での損失の発生等により当初予想を下回る結果となりました。

当社といたしましては、ここで手綱を引き締め、回復基調にある業界環境を背景に、第64期の修正目標数字の達成に向けて全社一丸となって邁進してまいります。

具体的な取り組みといたしましては、既受注案件の着実な仕上げを行い、業績を確かなものとするとともに、当社が進めております成長戦略の下で、ソーラー事業を含めたエネルギー問題への取り組み、中長期的な成長力を確保するための「人づくり」施策、更には積極的な海外展開を一層強化し、将来に向けての基盤づくりを行ってまいります。

株主の皆さまにおかれましては、引き続きのご支援とご協力を賜りますようお願い申し上げます。



代表取締役会長 水谷 大介  
代表取締役社長 山口 隆義

## 財務ハイライト (連結)

**売上高**  
**19,757**百万円

前年同期比2,740百万円減  
(△12.2%)

### ポイント

売上高は、手持ち工事の進捗率の遅れ等により前年同期比12.2%減の197億57百万円となりました。

### 経常利益

△**935**百万円

前年同期比924百万円減

### ポイント

経常損失は、米国の子会社にて大型工事の進捗の過程で損失が発生したこと等により、935百万円（前年同期は経常損失10百万円）となりました。

### 中間(当期)純利益

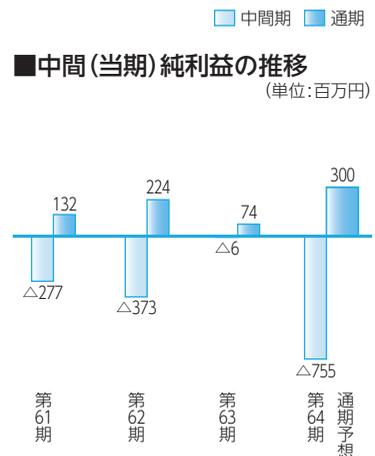
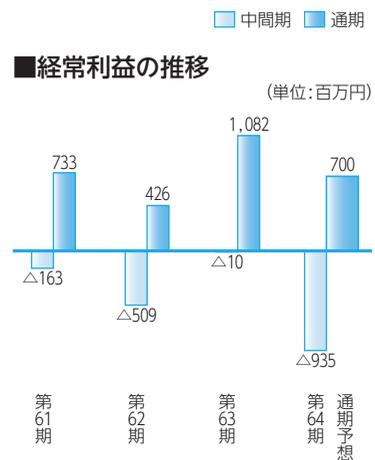
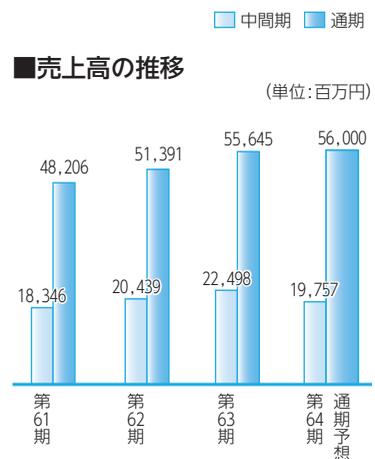
△**755**百万円

前年同期比749百万円減

### ポイント

中間純損失は、経常損失に特別損益、法人税等及び少数株主利益を加減算した結果、755百万円（前年同期は中間純損失6百万円）となりました。

※当社グループの売上高は、通常の営業形態として、連結会計年度末に完成する工事の割合が大きくなる傾向があり、一方、販売費および一般管理費などの固定費は各四半期にほぼ均等に発生するため、利益が連結会計年度末に偏るといった季節的変動があります。



## トピックス

### ぺんぎんソーラー(太陽光事業)の展開

当社の太陽光事業である「ぺんぎんソーラー」は、本年3月の自社初のメガソーラー発電所建設に続いて、新たに来年3月に向けて、2件の大型プロジェクトが進行しており、完成後の自社による総発電量は2.25MWとなる予定です。

「ぺんぎんソーラー」の推進目的は、売電そのものに留まらず、設備会社としてのノウハウを蓄積して、設備の熱源に関わるエネルギーの取り組みを強化することにあります。

現在、ビルや工場の屋根へのソーラーパネル新設を組み合わせた提案型営業を展開しておりますが、これにより効率的な電力需要のピークカットを実現いたします。

再生可能エネルギーの活用による、環境にもコストにも優しい施設の運用。これこそが「ぺんぎんソーラー」のテーマなのです。

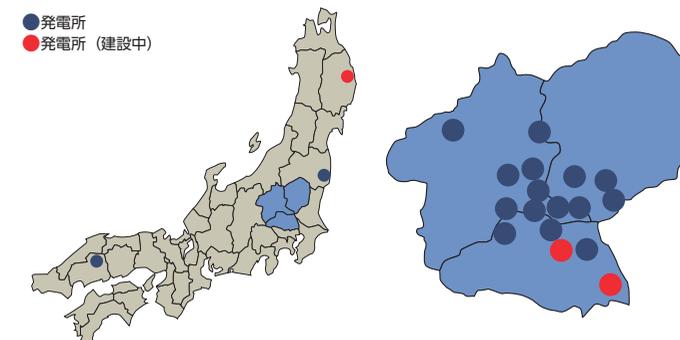
なお、当社は「ぺんぎんソーラー」の名称を商標登録し、当社の独自ブランドとして展開しております。



ペンギンメガソーラー発電所 エネルギーの「見える化」

### ソーラー発電所(含むペンギンメガソーラー発電所) 工事実績

※総発電量 3.51MW (2014年11月末現在)



### 大成温調の人づくり

「人づくり」を会社の成長戦略に掲げ、人材育成に取り組んでいる当社では、今期他社に先駆けて社員の自発的なスキルアップを目指したオープン研修制度をスタートさせ、個人の能力向上を様々な角度からバックアップしていく体制を整えました。

あわせて、社内教育体系の改革やビジネスモデルの変革による、個々の社員の技術力のアップやスキルの向上を図り、一人あたりの生産性を高めます。

またグローバル化を背景に取り組んでまいりました、外国籍スタッフの育成活用も着実に成果を上げており、2014年11月現在、13名の日本語に精通した外国籍スタッフが、国内外の大成温調グループの現場に従事しております。

さらに、今年3月には幅広い人材採用とその育成を目的とした新会社『ぺんぎんアソシエイツ株式会社』を設立し、同社においては幅広い外国籍スタッフの採用や、海外への積算業務等のアウトソーシング事業を推進しております。



成績優秀者を対象としたベトナム短期研修を実施



国内現場で働く「外国籍スタッフ」